

## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 アールビバン株式会社

コード番号 7523 URL <http://www.artvivant.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岩本 一也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 樋口 弘司

TEL 03-5783-7171

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	4,437	1.9	700	13.0	731	△14.6	740	39.6
27年3月期第3四半期	4,356	△1.0	620	△29.5	856	△12.4	530	△11.3

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 787百万円 (56.5%) 27年3月期第3四半期 503百万円 (△23.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	56.65	—
27年3月期第3四半期	40.59	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
28年3月期第3四半期	22,353		13,540	60.6			1,035.45	
27年3月期	20,406		13,342	65.4			1,020.26	

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 13,540百万円 27年3月期 13,342百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	5.00	—	30.00	35.00
28年3月期	—	15.00	—		
28年3月期(予想)				15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)27年3月期期末配当金(1株当たり配当金)の内訳:普通配当5円00銭 記念配当25円00銭 合計30円00銭  
 28年3月期中間配当金(1株当たり配当金)の内訳:普通配当5円00銭 特別配当10円00銭 合計15円00銭  
 28年3月期期末配当金(1株当たり配当金)の内訳:普通配当5円00銭 特別配当10円00銭 合計15円00銭

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,100	7.0	920	22.3	930	△4.3	700	38.3	53.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	15,463,816 株	27年3月期	15,463,816 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	2,386,612 株	27年3月期	2,386,612 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	13,077,204 株	27年3月期3Q	13,077,204 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出・生産において新興国経済の減速や海外情勢への懸念がみられるものの、緩やかな回復基調が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、第32期は年度方針として「第二創業への第一歩」を掲げ、中長期的な視点に基づき、人材、組織など中長期的な成長に向けた経営基盤固めを実践するとともに、「アート関連事業」において、新規顧客の開拓及び過去にとらわれず新たな収益基盤の創造にチャレンジしてまいりました。

また、引き続き、「絵のある豊かな生活（くらし）」によって、一人でも多くのお客様に夢や希望を感じていただけるよう営業活動を推進し、基幹の「アート事業」を中心に営業展開を行うとともに、組織の効率化、コスト削減に努め、収益力の改善に努めてまいりました。

加えて、平成27年11月12日付「特別利益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、和解金すべての入金がありましたので、今期累計で438百万円を特別利益に計上いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,437百万円（前年同四半期比1.9%増）、営業利益700百万円（同13.0%増）、経常利益731百万円（同14.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益740百万円（同39.6%増）となりました。

事業の種類別セグメント業績は、次のとおりであります。

#### ◆アート関連事業

当社グループの主力事業である絵画等販売事業におきましては、引き続き、新規顧客獲得に主眼をおいた営業活動に注力をし、また、イラスト系グッズ販売におきましては、グッズ専門店やグッズ通販サイトの運営を強化し、新規顧客の獲得及び取扱アーティストのブランド化や新作家開発に努め、版画の売上拡大につなげてまいりました。

しかしながら、版画売上において出荷が前期を下回ったことやグッズ事業が低調に推移したことにより売上高は2,845百万円（同1.0%減）となり、営業利益におきましては同要因及びグッズ事業の滞留在庫が増加したことにより190百万円（同28.0%減）となりました。

#### ◆金融サービス事業

金融サービス事業におきましては、当社及びその他一般加盟店の顧客に対する個別信用購入斡旋事業を中心に取り組んでおりますが、一般加盟店の顧客の取扱高が好調に推移いたしました。

この結果、売上高は731百万円（同24.1%増）、営業利益は411百万円（同29.9%増）となりました。

#### ◆リゾート事業

「タラサ志摩ホテル&リゾート」におきまして、本来の強みである「タラソテラピー」を軸に商品展開・営業活動を行い、本格的なタラソテラピーセンターとして、リピーター率の高い施設を目指して運営をいたしました。

しかしながら、プライダルの売上が前年を下回ったことにより売上高は513百万円（同11.3%減）となり、営業損失は34百万円（前年同四半期は31百万円の営業損失）となりました。

#### ◆健康産業事業

フィットネスクラブ「カルナ フィットネス&スパ 柏」におきまして、引き続き、ホスピタリティ精神を大切に質の高いサービスの提供及び新規会員の獲得数アップと既存会員の退会防止、客単価の上昇に主眼をおいた営業活動を推し進めてまいりました。

この結果、売上高は361百万円（前年同四半期比10.9%増）となり、営業利益は49百万円（前年同四半期比651.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は20,653百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,938百万円増加いたしました。これは主に、剰余金の配当等に伴い現金及び預金が706百万円減少いたしました。個別信用購入斡旋事業における取扱高の増加に伴い受取手形及び売掛金が1,661百万円増加し、将来の販売を目的とした高額美術品の仕入れを行ったことにより商品及び製品が653百万円増加したことによるものであります。固定資産は1,699百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円増加いたしました。

この結果、総資産は22,353百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,947百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は7,688百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,317百万円増加いたしました。これは主に割賦利益繰延が371百万円、前受金が215百万円、短期借入金が253百万円、1年内返済予定の長期借入金が300百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,124百万円となり、前連結会計年度末に比べ430百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が425百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は8,812百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,748百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は13,540百万円となり、前連結会計年度末に比べ198百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が152百万円、保有株式の時価の上昇によりその他有価証券評価差額金が41百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は60.6%（前連結会計年度末は65.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月12日に公表しました通期の連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	4,505,034	3,798,955
受取手形及び売掛金	8,581,429	10,242,502
営業貸付金	629,705	667,911
商品及び製品	3,777,818	4,430,917
仕掛品	8,805	20,564
原材料及び貯蔵品	33,812	43,173
前払費用	72,911	93,947
繰延税金資産	952,322	882,529
その他	337,787	676,137
貸倒引当金	△183,949	△202,714
流動資産合計	18,715,676	20,653,923
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	1,396,263	1,402,112
減価償却累計額	△1,102,082	△1,117,397
建物及び構築物（純額）	294,180	284,715
土地	227,722	227,722
リース資産	12,378	8,388
減価償却累計額	△4,813	△2,613
リース資産（純額）	7,564	5,774
建設仮勘定	28,270	—
その他	347,917	355,478
減価償却累計額	△300,421	△310,434
その他（純額）	47,496	45,044
有形固定資産合計	605,233	563,255
<b>無形固定資産</b>		
その他	21,913	64,645
無形固定資産合計	21,913	64,645
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	375,055	399,462
敷金及び保証金	193,132	191,602
繰延税金資産	282,262	261,938
その他	273,784	275,035
貸倒引当金	△60,544	△56,111
投資その他の資産合計	1,063,691	1,071,927
固定資産合計	1,690,838	1,699,828
資産合計	20,406,514	22,353,752

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	292,233	358,310
短期借入金	2,395,000	2,648,972
1年内返済予定の長期借入金	—	300,000
未払法人税等	130,598	195,841
前受金	903,790	1,119,489
割賦利益繰延	2,025,592	2,397,121
賞与引当金	55,190	30,240
返品調整引当金	14,372	17,063
その他	554,055	621,746
流動負債合計	6,370,832	7,688,786
固定負債		
長期借入金	450,000	875,000
リース債務	8,048	6,152
退職給付に係る負債	106,412	111,923
資産除去債務	127,017	129,025
その他	2,040	2,040
固定負債合計	693,518	1,124,141
負債合計	7,064,350	8,812,927
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,656,000	1,656,000
資本剰余金	6,706,301	6,706,301
利益剰余金	6,240,741	6,393,049
自己株式	△1,328,892	△1,328,892
株主資本合計	13,274,151	13,426,459
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	109,075	150,969
退職給付に係る調整累計額	△41,063	△36,603
その他の包括利益累計額合計	68,012	114,365
純資産合計	13,342,164	13,540,825
負債純資産合計	20,406,514	22,353,752

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	4,356,692	4,437,729
売上原価	1,774,017	1,774,344
売上総利益	2,582,674	2,663,384
販売費及び一般管理費	1,962,484	1,962,585
営業利益	620,189	700,799
営業外収益		
受取利息	441	1,950
受取配当金	5,529	6,319
投資事業組合運用益	23,347	1,394
為替差益	197,741	16,873
その他	13,410	13,464
営業外収益合計	240,470	40,003
営業外費用		
支払利息	2,715	8,010
その他	1,545	1,078
営業外費用合計	4,261	9,089
経常利益	856,398	731,712
特別利益		
受取和解金	—	438,374
特別利益合計	—	438,374
特別損失		
店舗閉鎖損失	7,390	1,886
減損損失	819	7,370
投資有価証券評価損	3,773	1,388
ゴルフ会員権評価損	6,490	—
特別損失合計	18,473	10,644
税金等調整前四半期純利益	837,925	1,159,441
法人税、住民税及び事業税	242,133	338,908
法人税等調整額	65,045	79,751
法人税等合計	307,178	418,659
四半期純利益	530,746	740,782
親会社株主に帰属する四半期純利益	530,746	740,782



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	530,746	740,782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31,928	41,893
退職給付に係る調整額	4,262	4,459
その他の包括利益合計	△27,666	46,353
四半期包括利益	503,079	787,135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	503,079	787,135
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	リゾート 事業	健康産業 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	2,875,741	583,159	572,064	325,725	4,356,692	—	4,356,692
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	50	5,846	6,943	—	12,840	△12,840	—
計	2,875,791	589,006	579,008	325,725	4,369,532	△12,840	4,356,692
セグメント利益 又は損失(△)	264,718	317,102	△31,292	6,625	557,154	63,034	620,189

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額63,034千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リゾート事業」及び「健康産業事業」において、営業活動から生じる損益が継続してマイナスである資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。当該事業による当第3四半期連結累計期間の減損損失の計上額は240千円及び579千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	リゾート 事業	健康産業 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	2,845,786	723,437	507,433	361,072	4,437,729	—	4,437,729
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	7,727	6,246	—	13,974	△13,974	—
計	2,845,786	731,165	513,679	361,072	4,451,703	△13,974	4,437,729
セグメント利益 又は損失(△)	190,582	411,783	△34,284	49,803	617,885	82,913	700,799

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額82,913千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リゾート事業」において、営業活動から生じる損益が継続してマイナスである資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。当該事業による当第3四半期連結累計期間の減損損失の計上額は7,370千円であります。